

2021パートナーガイドブック 発行にあたって

管対協会員の皆さま、管対協パートナー企業の皆さま、平素は管対協の活動に絶大なるご支援ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

さて、隔年に発行しておりますパートナーガイドブック2021年版をお送りいたします。

パートナーガイドブックは、管対協会員の管理組合とそれを支援する管対協パートナー企業とをつなぐ役割を果たしています。2018年から毎年開催されてきました日本経済新聞社主催の「関西マンション大規模修繕シンポジウム」を通じて、管対協が展開しているこのパートナーシップ制は、大きな注目を集めるようになりました。管対協は、建物管理の合理化に向けて計画修繕と日常管理を総合的に取り組む「総合的建物管理」を提唱しています。これは大規模修繕を担当する施工業者が、建物定期点検を中心とする日常管理にも管理組合と共同して取り組む事によって、予防的管理を推進し、計画修繕工事の修繕周期を伸ばし、それによって修繕費のランニングコストを低減しようという取り組みです。「二つの老い」を抱える高経年マンションにおいて、コスト削減は避けて通れない大きな課題になっています。それだけに有効なコスト削減策は、この管理組合も必要としている課題であります。

日経シンポジウム等を通じて管対協運動が注目を集めるようになっている背景には、管理組合とパートナー企業が共同して、管理の合理化に取り組むという新しい運動があるからです。この「パートガイドブック」発行も、そのような意味で今後ますますその重要性を増していくこととなります。

2021年12月吉日

NPO 法人京滋マンション管理対策協議会

(略称・管対協)

代表幹事 谷垣千秋